

第21回地域包括ケア歯科医療従事者養成講座のご案内

地域における医療・介護連携を図り、効果的な歯科保健医療サービスを提供できる体制整備を推進することを目的とし研修会を開催しますので、多くのご参加を賜りますようお願いいたします。

主 催 三重県・三重県歯科医師会

日 時 令和8年11月8日(日) 午前10時00分～12時10分

会 場 ◎Web受講 ※Zoomウェビナーを使用

◎会場受講 (三重県歯科医師会館：津市桜橋2丁目120-2)

講演①演題 「在宅で暮らすこどもの「食べる・話す・笑う」を支える医療
～ 小児在宅医療の現状と地域歯科への期待 ～」

講師 みえキッズ&ファミリーホームケアクリニック 院長 岩本 彰太郎 先生

講演②演題 「こどもと家族の「しあわせ」を暮らしの中で支える

～ 訪問看護師の役割と在宅口腔支援チームへの Message ～」

講師 (株)ジェネラス 訪問看護ステーションほたるいせ

Nursing Home MARIMO 統括所長 岡田 まり 先生

※詳細は裏面をご覧ください。

対 象 歯科医療従事者、医療従事者、行政関係者、福祉・介護関係者、保育・教育関係者 等

申込方法 ◎Web受講の場合

必ず期日までに、下記 URL または二次元コードからお申込みください。

URL https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_7YW8PBv4QfuBd1c-9QCvJA

登録完了後に登録されたメールアドレス宛、

＜二次元コード＞

研修会の視聴方法等の詳細をご連絡いたします。



◎会場受講の場合 ＜定員：150名＞

必ず期日までに、下記、参加申込書にてお申込みください。

※先着順（定員を超え、受講できない場合に限り連絡を
いたします。）

申込締切 令和8年11月2日(月) ＜参加無料＞

※三重県歯科衛生士会会員で、日本歯科衛生士会第5次生涯研修制度に基づき受講単位の申請を希望される方は参加申込時にご連絡ください。なお、申請にあたり三重県歯科衛生士会に氏名・会員番号を連絡しますのでご了承ください。

※感染症の流行や悪天候等により、やむなく中止となる場合は、当日の午前9時までに三重県歯科医師会ホームページに掲載します。

第21回地域包括ケア歯科医療従事者養成講座参加申込書 (会場受講用)

所属		電話	- -
氏名		職種	
三重県歯科衛生士会会員で、日本歯科衛生士会第5次生涯研修制度に基づき受講単位の申請を希望される方はチェック☑を入れ、会員番号を記入してください（三重県歯科衛生士会経由）			☐ (会員番号)

＜お問合せ・お申込み先＞三重県歯科医師会事務局 FAX 059-227-0510

〒514-0003 津市桜橋2丁目120-2 TEL059-227-6488

講演①「在宅で暮らすこどもの「食べる・話す・笑う」を支える医療

～ 小児在宅医療の現状と地域歯科への期待 ～

みえキッズ&ファミリーホームケアクリニック 院長 岩本 彰太郎 先生

医療の進歩により、人工呼吸器や気管切開、経管栄養などの医療的ケアを必要としながら、地域で家族と暮らすこどもが増えています。一方、基礎疾患や障害、医療的ケアの内容は多様であり、通院の困難さや家族の介護負担などから、十分な歯科診療や継続的な口腔管理につなぐににくいことも少なくありません。本講演では、県内における小児在宅医療の現状とこどもを取り巻く生活環境を紹介するとともに、在宅療養児にみられる口腔内の特徴や、摂食・嚥下、呼吸管理との関係について、実際の診療経験を交えて解説します。また、成長・発達を見据えた早期からの予防的な口腔管理の重要性についても触れます。さらに、こどもの「食べる・話す・笑う」を地域で支えるために、歯科医師、歯科衛生士、地域口腔ケアステーションに期待する役割と、医科・歯科・福祉・保育・教育との連携について考えます。

【略歴】岩本 彰太郎（いわもと しょうたろう）

1992年、三重大学医学部を卒業後、県内の地域基幹病院の他、鹿児島市立病院などで小児科診療に携わる。2003年から2007年まで、米国セントジュード子ども病院で小児がんの基礎研究に関わり、2007年から三重大学医学部小児科に戻る。2023年8月からは、現在のクリニックを開業し、医療的ケア児・者の訪問診療を始める。2024年4月からは、クリニックの横に、重症心身障害児者のデ・サービス事業所「サンクエールの森」を開業し、代表理事を務める。

1992年 三重大学医学部 卒業
2003年 米国テネシー州 セントジュード子ども研究病院 研究員
2007年 三重大学医学部 小児科 助教
2017年 同医学部 小児科 講師
2018年 同医学部 小児科 准教授
兼三重大学医学部附属病院 小児トータルケアセンター センター長
2021年 同院 小児・AYAがんトータルケアセンター センター長
2023年 みえキッズ&ファミリーホームケアクリニック 院長
2024年 一般社団法人サンクエールの森 代表理事

講演②「こどもと家族の「しあわせ」を暮らしの中で支える

～ 訪問看護師の役割と在宅口腔支援チームへの Message ～

(株) ジェネラス 訪問看護ステーションほたるいせ

Nursing Home MARIMO 統括所長 岡田 まり 先生

医療的ケアを必要とするこどもたちが、住み慣れた地域で家族とともにその子らしく暮らすためには、医療的ケアだけでなく、こどもと家族の「しあわせ」を暮らしの中で支える視点が大切です。訪問看護師は、生活の場に継続して関わり、健康状態に加え、口腔内の変化、食事や嚥下、生活の様子、家族の思いを捉え、必要な支援につなぐ役割を担っています。口腔の健康は、「食べる・話す・笑う」ことを支え、こどもの成長や生活の質、家族の安心にもつながります。本講演では、訪問看護の実践を通して、こどもの暮らしの中で口腔を捉え、歯科診療や口腔管理につなげる視点を共有します。歯科医師・歯科衛生士の皆様には、生活の場に足を運び、こどもと家族の暮らしを知り、専門性を日々のケアに活かしていただきたいという Message をお伝えします。こどもと家族を中心に、医療・歯科・福祉・保育・教育がつながる地域連携のあり方について考えます。

【略歴】岡田 まり（おかだ まり）

三重県出身。看護専門学校卒業後、神奈川県内の急性期病院で約9年間、がん看護を中心に臨床経験を積む。その後、看護専門学校教員として13年間、在宅看護論・小児看護学を担当し、看護師の育成に携わる。

2012年、株式会社ジェネラスに入職。三重県伊勢市に訪問看護ステーションを開業し、管理者として小児から高齢者まで幅広い在宅療養を支援。2018年には三重大学大学院でがん看護学を学び、地域包括ケアや訪問看護の質向上を探究する。

2022年には、医療的ケアの有無にかかわらず、すべての世代が利用できる共生施設「Nursing Home MARIMO」を開業。現在は、医療的ケア児と家族を支える地域ネットワークづくりと人材育成に取り組み、「一人の子どもの存在が地域を変える」を信念に、誰もが地域でその人らしく暮らせるまちづくりを実践している。